

2018年4月吉日

一般社団法人 石川県社会福祉士会 生涯研修センター  
 一般社団法人 富山県社会福祉士会 生涯研修センター  
 一般社団法人 福井県社会福祉士会 生涯研修センター

## 2018年度 基礎研修Ⅲのご案内

このたびは、北陸三県共催の生涯研修基礎課程「基礎研修Ⅲ」にお申し込みいただき、ありがとうございます。

受講者は以下につきましてご確認いただき、ご参加ください。なお、プログラムは現在把握している部分を掲載しており、会場、プログラム順等が変更となった場合にのみご案内いたしますので、この用紙は大切に保管してください。また、下記日程で受講できない場合は、所属の社会福祉士会事務局あてに事前にご相談下さい。

### 1. 実施プログラム

会場：金沢市松ヶ枝福祉館(石川県金沢市高岡町7番25号)…部屋は入口看板を確認して下さい  
 ※11月17日研修は別会場を予定しております。

受付：8時45分～9時(初日のみ8時30分～)

当日緊急時連絡：090-1639-2244(石川県社会福祉士会事務局)

科目等	日時・期限	テーマ・内容	備考
実践評価・実践研究系科目Ⅰ	5月26日(土) 9時～16時	<b>《集合研修》</b> ・集合研修1 対人援助と事例研究(講義1.5時間) ・集合研修2 事例研究の基本枠組み(講義1.5時間) ・集合研修3 事例研究の方法としてのケースカンファレンス(講義3時間)	
ソーシャルワーク理論系科目Ⅰ 【事前課題】	提出期限 6月30日(土) 研修当日に7部持参	基礎研修Ⅱ集合研修1で実施した、ソーシャルワーク理論系科目「実践事例演習」を改めて振り返り、「社会福祉援助の展開過程」を踏まえた上で、自らが現在実践している事例のうち1つを、書式に沿って、A4用紙1～2枚程度にまとめる。	
実践評価・実践研究系科目Ⅰ	6月30日(土) 9時～15時	<b>《集合研修》</b> ・集合研修4 事例研究のための事例のまとめ方(講義1.5時間)	
ソーシャルワーク理論系科目Ⅰ		<b>《集合研修》</b> ・集合研修1 実践事例演習Ⅱ(演習3.5時間)	事前課題 7部持参
実践評価・実践研究系科目Ⅰ 【中間課題】	提出期限 7月28日(土) 研修当日に7部持参	実践評価・実践研究系科目集合研修4の講義を受け、「フェイスシート」と「事例の経過記録」をまとめる。 ※書式はワークブックに掲載されているものを使用	
ソーシャルワーク理論系科目Ⅰ 【修了レポート】	提出期限 8月13日(月)	実践事例演習Ⅱをうけて、所定の書式に沿ってまとめる。	
実践評価・実践研究系科目Ⅰ	7月28日(土) 9時～14時30分	<b>《集合研修》</b> ・集合研修5 模擬事例検討会(講義1.0時間、演習3.5時間)	中間課題 7部持参
実践評価・実践研究系科目Ⅰ 【修了レポート】	提出期限 9月14日(金)	模擬事例検討会にて発表した自身の実践事例をまとめたものを集合研修で相互評価してもらった上で推敲する。	
権利擁護・法学系科目Ⅰ 【事前課題】	提出期限 8月25日(土) 研修当日2部持参	事前学習資料を読み「意思決定の支援の必要性」についてのあなたの考えをホームレスを例に挙げて、1200字程度にまとめる。その際、「判断能力」「アセスメント」「エンパワメント」という言葉を必ず用いる。	

権利擁護・法学系科目 I	<b>8月25日(土)</b> 9時～16時	<b>《集合研修》</b> ・集合研修1 意思決定の支援（講義1.5時間、演習4.5時間）	事前課題 2部持参
権利擁護・法学系科目 I 【修了レポート】	<b>提出期限</b> 9月25日(火)	自分に対応する「意思決定の支援が必要な対象者」を想定し、「意思決定の支援の必要性」の判断根拠を示したうえで、想定される支援プロセスを2000字程度でまとめる。	
地域開発・政策系科目 I 【事前課題】	<b>提出期限</b> 9月29日(土) 研修当日に2部持参	所属組織が所在する自治体で策定している地域福祉計画等を読み、あなたが支援している利用者を想定しながら、 (ア) 地域福祉計画等のどの部分が、利用者の生活にどのように関係しているか (イ) 実際に支援する場合、利用者に対する支援にどのように活用できるか (ウ) 利用者に対する支援と地域福祉計画等を結び付けて考える場合に課題となりそうなことは何かについて、各項目を含め、(1200～1500字)にまとめる。	
地域開発・政策系科目 I	<b>9月29日(土)</b> 9時～16時	<b>《集合研修》</b> ・集合研修1 地域における福祉活動の実際 地域における福祉活動（講義1.5時間、事例1時間、演習3.5時間）	事前課題 2部持参
地域開発・政策系科目 I 【中間課題】	<b>提出期限</b> 2月23日(土) 研修当日に7部持参	① あなたが現在、支援している利用者、あるいは過去に支援していた利用者を想定しながら、ヒアリングシートを記入する。 ② ①で作成したヒアリングシートをもとに、企画シートを作成する。その際、下段にある事後課題の欄は空欄のままにする。	
サービス管理・経営系科目 I	<b>10月27日(土)</b> 9時～16時	<b>《集合研修》</b> ・集合研修1 社会福祉の組織と組織マネジメントの意義、会議運営（講義3時間） ・集合研修2 福祉サービスにおける質の評価とサービスマネジメント（講義3時間）	
サービス管理・経営系科目 I 【事前課題】	<b>提出期限</b> 11月17日(土) 研修当日に2部持参	事前課題シート①～④を作成する。 ① サービス管理・経営系科目に用いられる用語の整理を行う。 ② 所属組織における苦情、事故(インシデント)発生時の対応方法について調べる。 ③ 所属組織の苦情対応委員会について調べる。また、第三者委員の関わりを調べる。 ④ 委員会で決定した事項の周知方法(再発防止策)と、苦情、事故をサービス改善につなげる方法について、所属組織で工夫している点を調べる。	
サービス管理・経営系科目 I	<b>11月17日(土)</b> 9時～18時	<b>《集合研修》</b> ・集合研修3 リスクマネジメントと苦情解決システム（講義3時間） ・集合研修4 事例研究[苦情、リスク、サービス評価]（演習5時間）	事前課題 2部持参 (会場未定)
サービス管理・経営系科目 I 【修了レポート】	<b>提出期限</b> 12月17日(月)	① 苦情が発生した後の対応について、対応の働きかけ先、役割分担、対応時期、方法を所定の様式にまとめる。 ② 講義・演習を通して学んだことを参考にして、所属組織でサービス管理・サービス改善等を行う場合の課題について800～1200字でまとめる。	
人材育成系科目 I 【事前課題】	<b>提出期限</b> 12月1日(土) 研修当日に2部持参	① 「スーパーバイザー」自己チェックシート ② 「新人教育プログラム」自己チェックシート ③ 「研修プログラム」 ※③の参考資料として職場の資料やパンフレットがあればグループ人数分用意する	

人材育成系科目 I	<b>12月1日(土)</b> 9時～19時	<b>《集合研修》</b> ・集合研修1 スーパービジョンのモデルセッション（講義2時間、演習2時間） ・集合研修2 新人教育プログラム（講義1時間、演習4時間）	事前課題 2部持参
人材育成系科目 I 【修了レポート】	<b>提出期限</b> 1月15日(月)	新人教育プログラムにおける講義や演習を踏まえ、所定の書式に記入する。	
地域開発・政策系科目 I	<b>2月23日(土)</b> 9時～16時	<b>《集合研修》</b> ・集合研修2 地域の課題の解決に向けた具体策について (演習6時間)	<b>中間課題</b> 7部持参
地域開発・政策系科目 I 【修了レポート】	<b>提出期限</b> 3月18日(月)	① 中間課題で作成した企画シートに対して、2日目の演習で助言された「より良くするための工夫」を参考に、企画シートの修正を行い『完成版』を作成する。 ② 修正した『企画シート』をもとに、企画を具体化するための今後の方向性について500字程度でまとめる。 ③ 企画の具体化や、地域課題を解決するにあたり、あなたが所属する組織に求められている課題や今後の方向性について1200～1500字でまとめる。	

## 2. 5月26日(土) 研修初日について

- (1) 場所、時間は上記プログラムにてご確認ください。
- (2) 受付にて受講証をご提示ください。
- (3) 2018年度使用テキスト

### ■5月26日(土)に使用します。

① 基礎研修テキスト下巻	5月26日(土)に持参してください
② 基礎研修ワークブックⅢ	※受付時にお渡しします

### ■初日以降は科目に応じてテキスト①～④を持参してください。

③ 基礎研修テキスト上巻
④ 基礎研修スーパービジョンテキスト

- (4) 駐車場が混雑する場合がありますので、なるべく乗り合わせてお越しいただくか、近隣の駐車場、公共交通機関のご利用をお願いいたします。(別紙：会場案内図参照)

## 3. 2018年度 基礎研修Ⅲ受講にあたって

### ○振替受講について

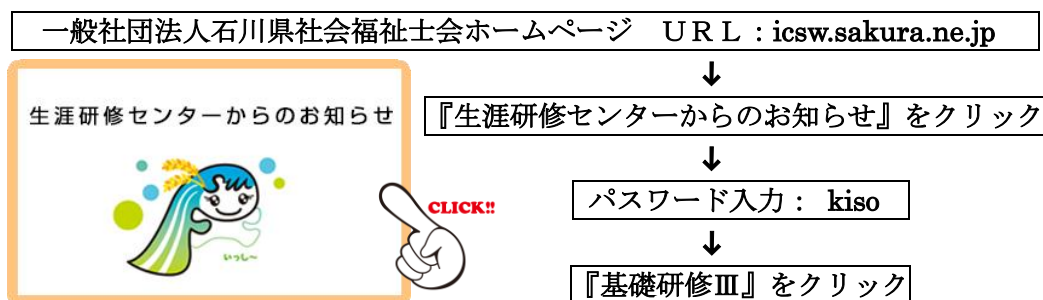
- ① 「ソーシャルワーク理論系科目 I」集合研修1の修了評価は、事前課題+当日の事例演習+レポートの3つで評価されますので、振替受講が困難です。6月30日の集合研修はできるだけ石川会場で受講して下さい。
- ② 「地域開発・政策系科目 I」集合研修1～2(9月29日、2月23日)の科目につきましても、できるだけ石川会場で受講して下さい。

### ○事前課題・科目修了レポートの取り扱い

- ① 石川県社会福祉士会事務局あて、郵送またはメールにてご提出ください。  
 ※提出課題の控えは必ず取っておいてください。  
 ※富山県、福井県受講者も課題提出先は石川県社会福祉士会事務局となります。

<b>課題提出先</b>	一般社団法人石川県社会福祉士会事務局あて
■住所	〒920-8557 石川県金沢市本多町3丁目1番10号 石川県社会福祉会館2階
■電話番号	(076)207-7770
■メールアドレス	icsw@spacelan.ne.jp

- ② 事前課題・中間課題の提出がない場合は、次の集合研修を受講できません。
- ③ 科目修了レポートの提出がない場合は、次の集合研修を受講できません。
- ④ 各課題様式は石川県社会福祉士会事務局ホームページに掲載いたします。



### ○受講者情報(申込内容)の変更について

受講期間中に住所、所属、連絡先等が変更となる場合は、所属県事務局あてご連絡ください。

### ○講義内容のビデオ、写真撮影へのご協力について

研修運営側の振り返りのため、講義内容を撮影させていただくことがあります。また、研修の様子を石川県社会福祉士会のFacebookに掲載する場合がありますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。

### ○修了基準と評価

- ① 所定のプログラムを全て受講し、各科目で定める修了要件を満たすことで修了となる。
- ② 原則として15分以上の遅刻、早退は欠席として扱い、欠席した科目は延長期間内に再受講することで修了となる。
- ③ 科目ごとに設定された採点基準の70%以上に達していると判断された場合、修了となる。
- ④ 修了評価基準に達しなかった場合は各科目で設定している課題等を行い、その基準に達した場合、修了を認める。それでも達しなかった場合は、延長期間内に再受講することとする。

### ○修了者の認定

- ① 基礎課程修了者の認定及び認定社会福祉士制度の認証科目の修了証の発行は、日本社会福祉士会が行う。
- ② 本研修を修了した者には、所属の社会福祉士会が「修了証」を発行する。

### ○研修期間の延長

やむを得ない事情により、期間内ですべてのプログラムを終了できない場合は、研修期間延長手続きを取ることで、研修期間の延長を認める。

※2015年度より「認定機構に認証された基礎研修」の期間延長ルールが大きく変更となり、認定単位の取得につきましては、基礎研修Ⅰの申込年度を基準年として、基礎Ⅲ修了までの期間が最長6年間まで認められることになりました。認定社会福祉士を目指さない方は延長期間がありませんので、詳細につきましては、所属の社会福祉士会事務局までお問い合わせください。